

SUZUKI KATANA 機械曲チタンサイクロン Duplex Shooter 政府認証

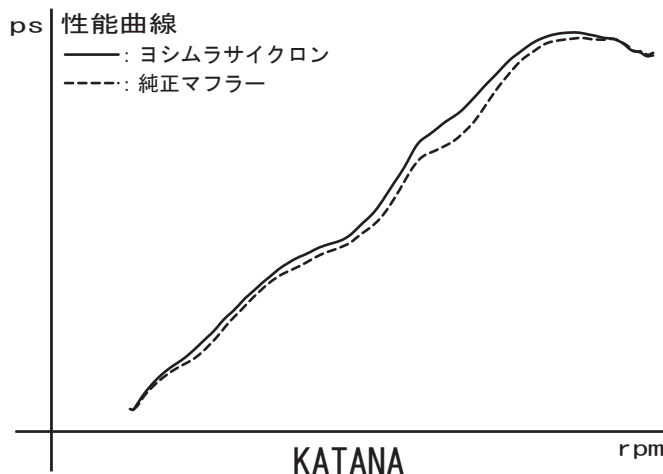
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- ▲注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	SUZUKI KATANA
車両型式	2BL-GT79B
エンジン型式	T719
認証番号	JMCA2020001165
サイクロン型式	S199SCI12
素材	SUS304 / Ti
品番	メタルマジックサイレンサー : 110-199-8220
	チタンサイレンサー : 110-199-8280
	チタンブルーサイレンサー : 110-199-8280B
重量	純正マフラー : 11.0 kg
	メタルマジックサイレンサー : 7.5 kg
	チタンサイレンサー : 7.3 kg
	チタンブルーサイレンサー : 7.3 kg

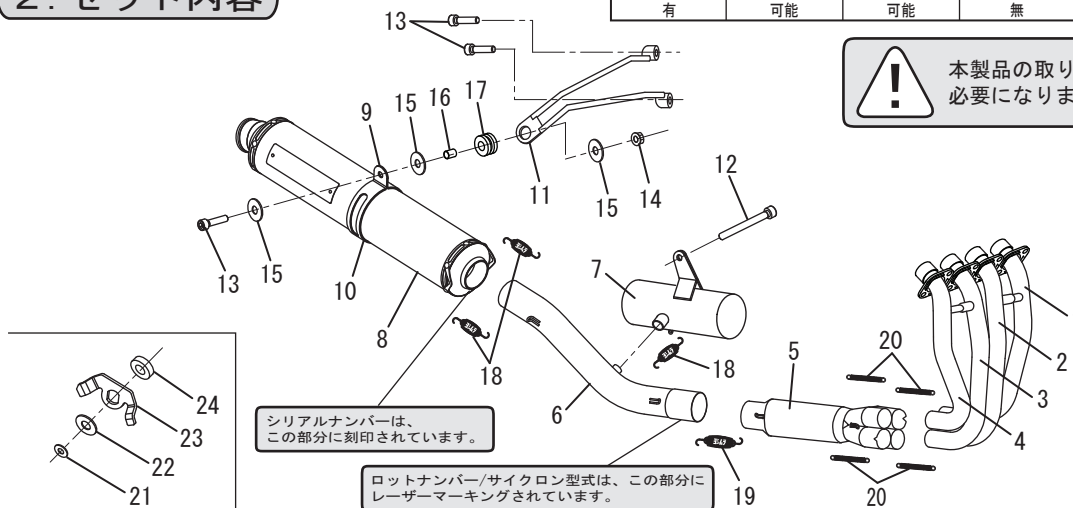


2. セット内容

触媒 有	オイル交換 可能	オイルフィルター交換 可能	センタースタンド 無	ガスケット 純正品を使用	カウル加工 無	サイレンサーリメイク 可能
---------	-------------	------------------	---------------	-----------------	------------	------------------



本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。



NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ# 1	1	111-199-8200	14	フランジナットM8	1	823-008-1250
2	エキゾーストパイプ# 2	1	112-199-8200	15	平ワッシャM8×2.6	3	812-108-2600
3	エキゾーストパイプ# 3	1	113-199-8200	16	グロメットカラー 8—1 2—1 2	1	850-208-1212
4	エキゾーストパイプ# 4	1	114-199-8200	17	グロメットラバー	1	553-565-0000
5	集合部	1	119-199-5000	18	マフラスプリング(アローテイング)	3	118-001-0000
6	テールパイプ	1	115-199-8200	19	マフラスプリング(ミッドアローテイング)	1	118-001-2000
7	サブサイレンサー	1	139-199-826A	20	マフラスプリング ロング	4	118-000-1000
8	サイレンサー (メタルマジックカバー)	1	139-199-8220	21	SUSワッシャM5	1	812-205-1512
	サイレンサー (チタンカバー)		139-199-8280	22	SUSワッシャM1.2	1	812-512-1815
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-199-8280B	23	パタフライキャンセルステー	1	148-984-0021
9	サイレンサーバンド	1	162-47R-1500	24	アルミカラー 1 2—2 0—7	1	860-012-2007
10	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-002-0536	※	スプリングインナーチューブ	4	118-000-1100
11	サイレンサーステー	1	161-199-0300	※	スプリング取付工具	1	100-000-0000
12	キャップボルトM8×1.4 5	1	800-208-5145	※	自動車排出ガス試験結果証明書	1	H950151
13	キャップボルトM8×3.0	3	800-208-5030				

3. 取付方法

△注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。
2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、O2センサーのカプラーを外して下さい。
次に、純正マフラーからO2センサー、排気バルブワイヤーを外してから純正マフラーを車両から取り外して下さい。（FIG. 1 参照）

△注意 排気バルブワイヤーを外したままイグニッションをONにすると、モーターが空回りして破損する恐れがあります。
排気バタフライキャンセルステーの取り付けを終えるまでは、絶対にイグニッションをONにしないで下さい。

3. シート、リアシート、テールカウルを外し、リアサスペンションを外して下さい。

参考 リアサスペンションを外す際はジャッキやメンテナンススタンドで車両を起し、車両が倒れないよう十分に注意して作業して下さい。

4. 排気バルブモーターのカプラーを外し、排気バルブモーターのユニットを車両から取り外して下さい。（FIG. 3 参照）

5. モーターユニットのモータープリーが回らない様に注意しながらモータープリーを留めるボルトを外し、モータープリーをモーターユニットから取り外して下さい。（FIG. 3 参照）

6. ②④アルミカラー 12-20-7、②⑤SUSワッシャM12、②①SUSワッシャM5、純正ボルトを使用して、②③排気バタフライキャンセルステーをモーターユニットに取り付け、規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 3, 4, 5 参照）

△注意 規定トルク 純正ボルト : 10Nm

△注意 ※②③排気バタフライキャンセルステーを締める際は、必ず②③排気バタフライキャンセルステーが回らないように注意して下さい。
②③排気バタフライキャンセルステーが回転してしまうと、最悪の場合モーターユニットを破損する恐れがあります。
※取り付けの際は、②③排気バタフライキャンセルステーの向きに注意して下さい。



FIG. 1

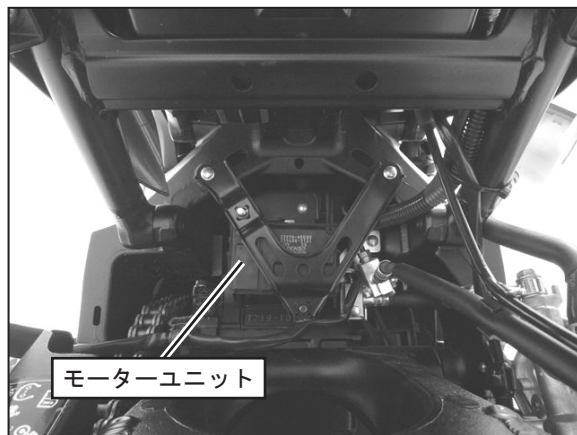


FIG. 2

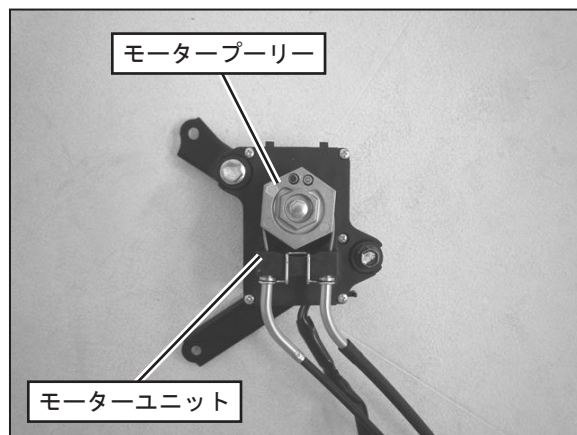


FIG. 3

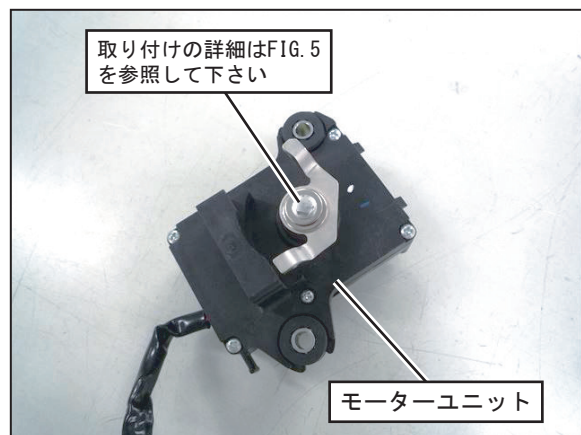


FIG. 4

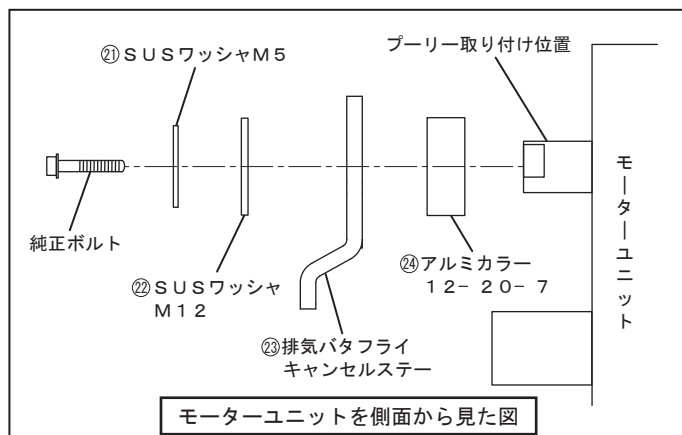


FIG. 5

7. 排気バルブモーターユニット、リアサスペンション、テールカウル、リアシート、シートを元に戻して下さい。

8. ⑪サイレンサーステーに⑪グロメットラバー、⑪グロメットカラーを取り付けて下さい。(FIG. 6 参照)

9. 純正の右側タンデムステップを一旦取り外して、右側タンデムステップ・⑪サイレンサーステーの順に車両に取り付け、⑬キャップボルトM8×30を使用して規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 7, 8 参照)

注意 規定トルク キャップボルトM8 : 2.3 Nm

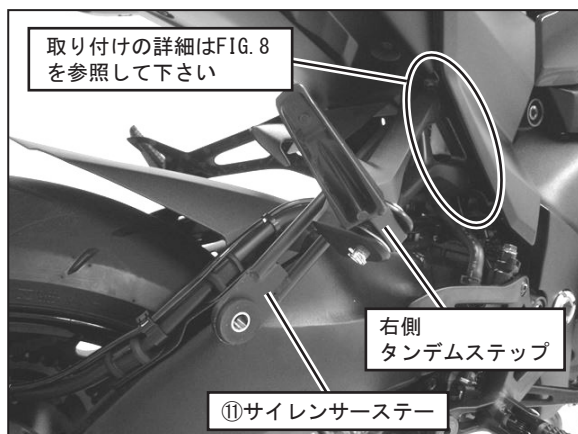


FIG. 7

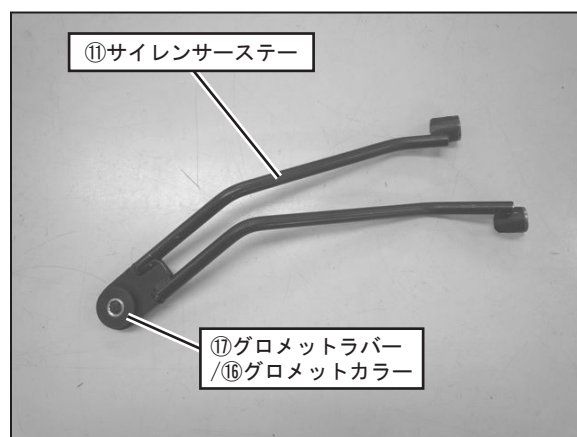


FIG. 6

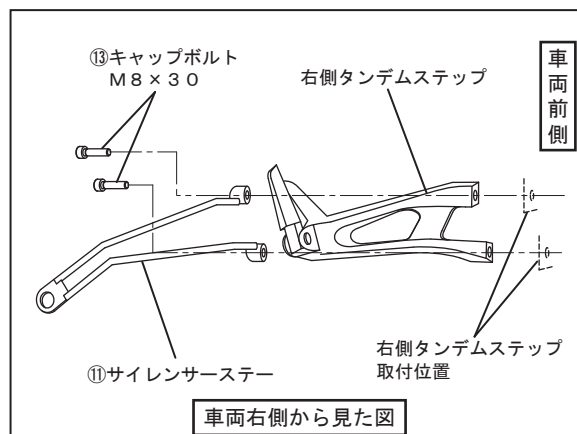


FIG. 8

10. 純正サイレンサー取付位置のグロメットカラーとグロメットラバーを取り外して下さい。(FIG. 9 参照)

11. ⑳マフラスプリングロングにスプリングインナーチューブを入れて下さい。(FIG. 10 参照)

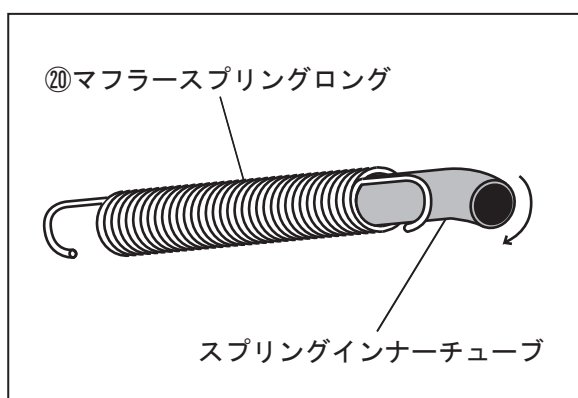


FIG. 10

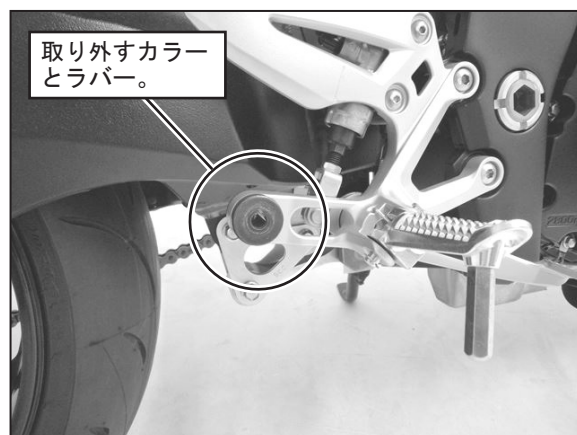


FIG. 9

12. エキゾーストパイプ①#1と②#2、③#3と④#4をそれぞれ連結させて、⑤集合部に貼ってある識別ラベルと同じ番号のエキゾーストパイプを⑤集合部に取り付け、スプリング取付工具を使用して⑬マフラスプリングロングを取り付けて下さい。(FIG. 11 参照)

危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

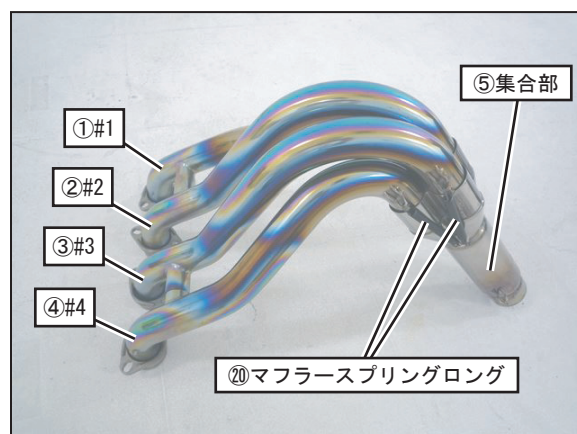


FIG. 11

13. 集合部の識別ラベルをはがして、良く脱脂して下さい。

⚠注意 識別ラベルはエキゾーストパイプ取り付け後、暖気運転前に必ず剥して下さい。
ラベルを貼ったままエンジンを始動しますと、集合部に焼き付いて色ムラとなって残ってしまいます。

14. エンジンの排気ポートに取り付けられているエキゾーストガスケットを新しいものに交換し、手順12で組み立てたエキゾーストパイプを排気ポートに取り付け、純正ボルトを使用して仮締めして下さい。

(FIG. 12, 13参照)

参考 ラジエーターを止める三箇所のボルトを外し、ラジエーターを前側にずらすと作業を行いやすくなります。

⚠注意 取り付け中にマフラーや車両が傷つかないように、クリアランスが狭い所は予め養生してから作業を行って下さい。
特にラジエーターフィンに変形しやすいので注意して下さい。

⚠注意 必ずメーカー純正のガスケットを使用して下さい。

15. ⑤集合部に⑥テールパイプを取り付け、⑲マフラスプリングミディウムフローティングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 14参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

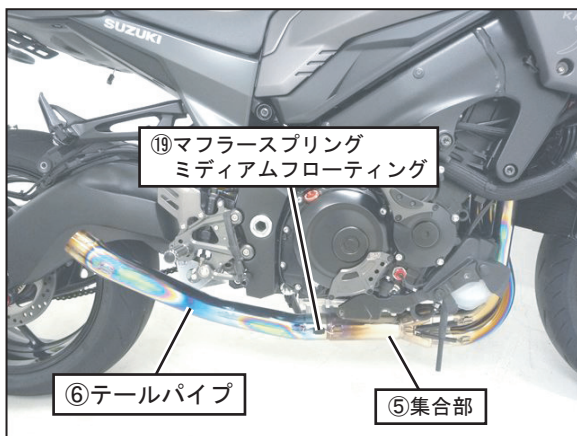


FIG. 14

16. ⑦サブサイレンサーを⑥テールパイプの連結管に取り付けて下さい。

次に⑦サブサイレンサーのステーを車両下側の純正マフラーのチャンバーを留めるブラケットに合せ、⑱キャップボルトM8×145、純正ワッシャ、純正ナットを使用して仮締めして下さい。

(FIG. 15, 16, 17参照)

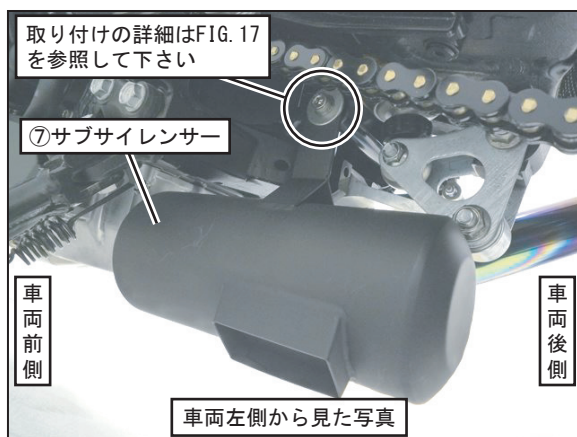


FIG. 16



FIG. 12

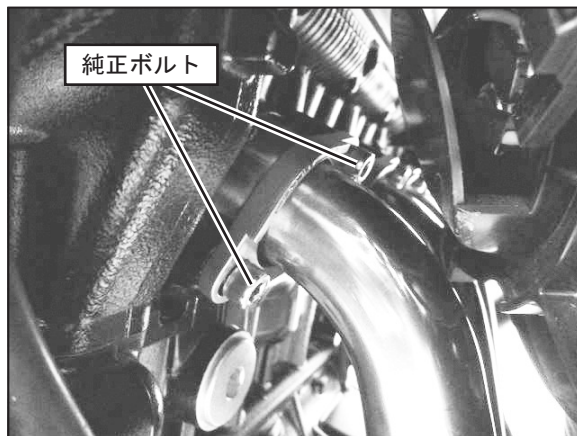


FIG. 13

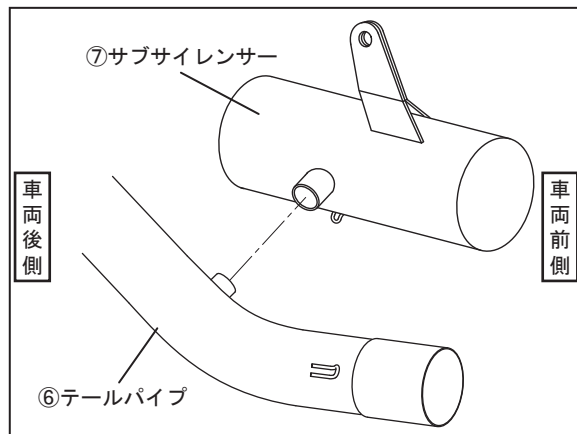


FIG. 15

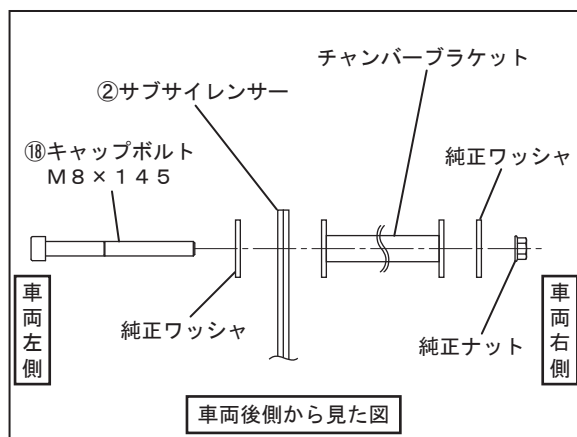


FIG. 17

17. ⑥テールパイプと⑦サブサイレンサーに⑮マフラスプリングフローティングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 18 参照)

18. ⑧サイレンサーをテールパイプに取り付け、⑮マフラスプリングフローティングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。(FIG. 19, 20 参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

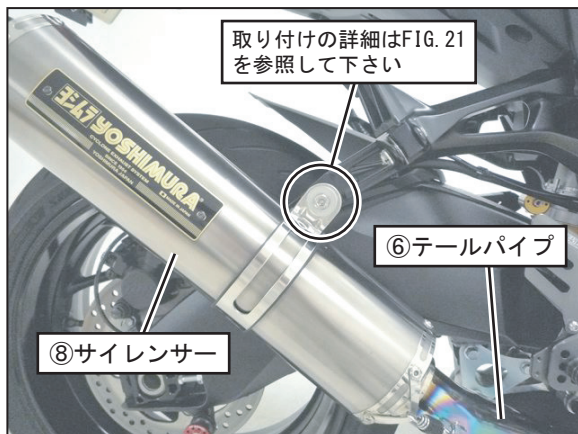


FIG. 19

19. ⑨サイレンサーバンドに⑩サイレンサーバンド用スペーサーラバーを通してから⑧サイレンサーに通し、⑬キャップボルトM8×30、⑮平ワッシャM8×26、⑭フランジナットM8を使用して⑪サイレンサーステーに仮締めして下さい。(FIG. 19, 21 参照)

⚠注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに付けると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。
※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

20. 車両後方から見てサイレンサーの角度やマフラーと車両のクリアランスを調整し、エキゾーストパイプ→サブサイレンサー→サイレンサーの順に規定トルクで締め付けて下さい。(FIG. 22 参照)

⚠注意	規定トルク	エキゾーストパイプ	: 15 Nm
		サブサイレンサー	: 23 Nm
		サイレンサーバンド	: 23 Nm

21. マフラーと車両が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合はエキゾーストパイプ、サイレンサー、サブサイレンサー、サイレンサーステーを留めるボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。(FIG. 23 参照)

22. O2センサーを集合部に取り付け、カプラーを元に戻して下さい。

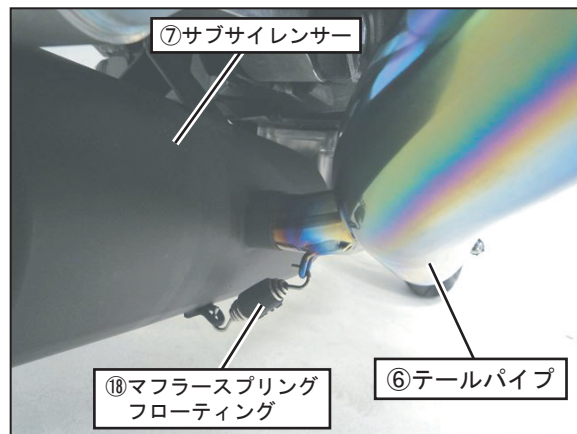


FIG. 18

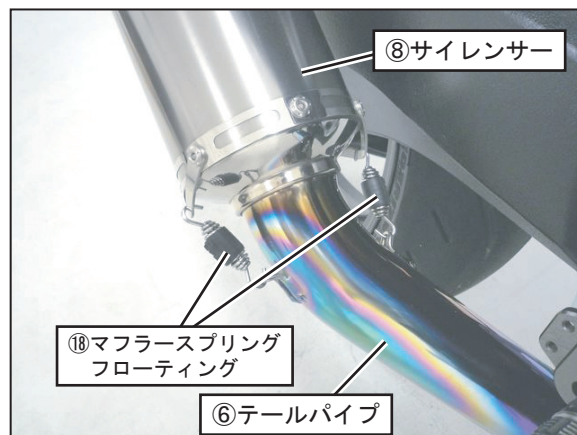


FIG. 20

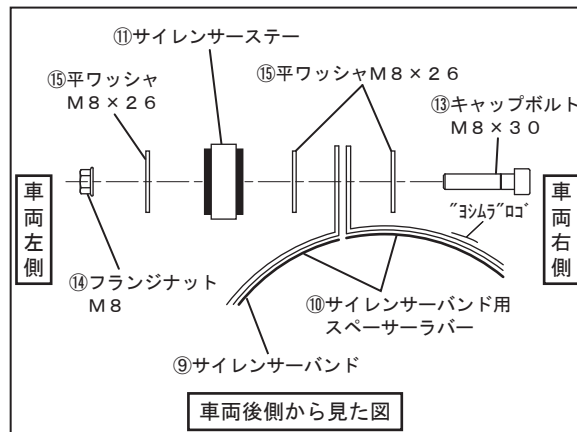


FIG. 21

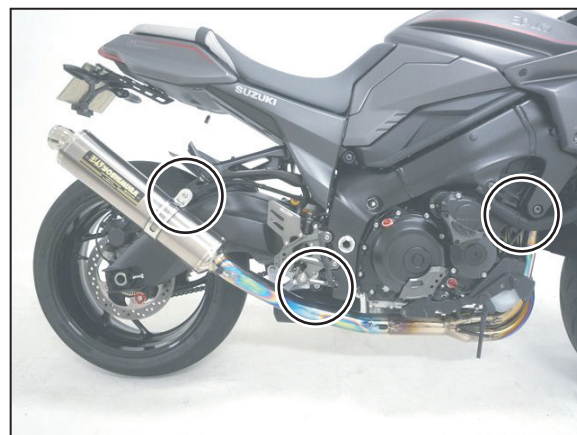


FIG. 22

23. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまふことがあります。

⚠注意 ※メタルマジックカバーやエンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。

24. 暖気運転を行ない、排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。

参考 オイルフィルターを交換する際は、オイルフィルターとヘッダーASSYとのクリアランスが狭い為、側面からフィルターを掴むオイルフィルターレンチを使用して下さい。
(FIG. 24, 25参照)



FIG. 23



FIG. 24

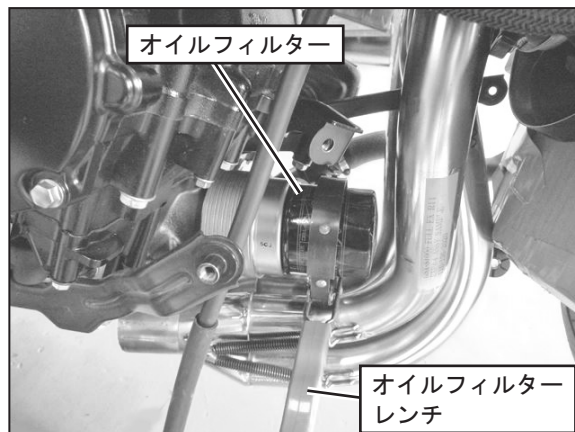


FIG. 25



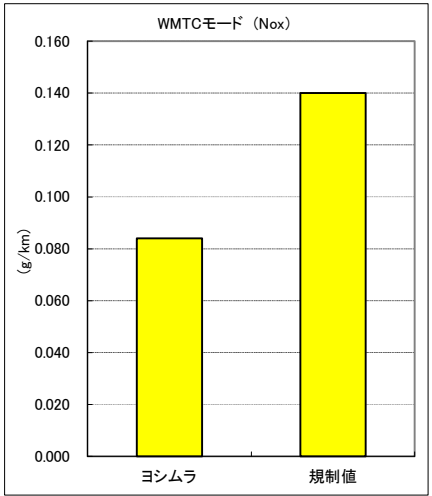
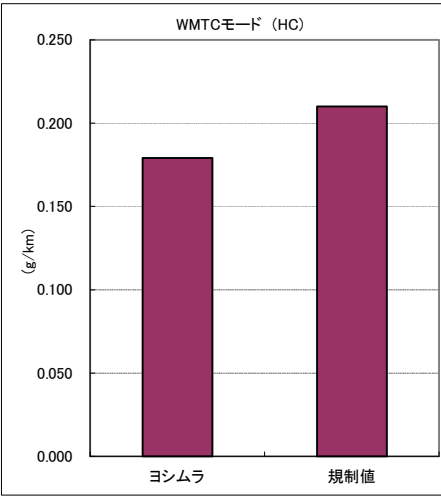
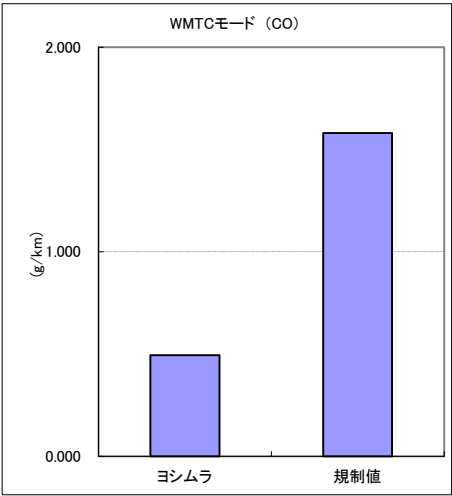
SUZUKI KATANA 機械曲チタンサイクロン Duplex Shooter 政府認証

SUZUKI KATANA 機械曲チタンサイクロン Duplex Shooter 政府認証 排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表

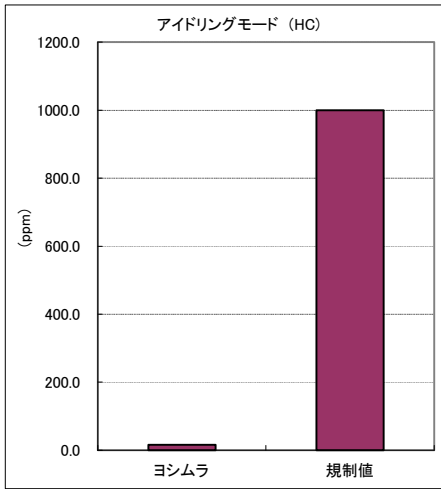
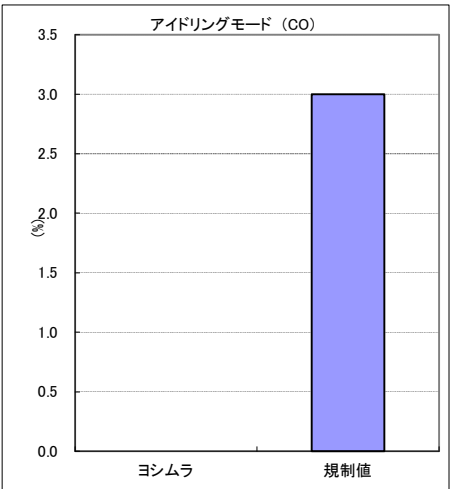
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.494	1.58
炭化水素HC(g/km)	0.179	0.21
窒素酸化物Nox(g/km)	0.084	0.14
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	109.4	規制無



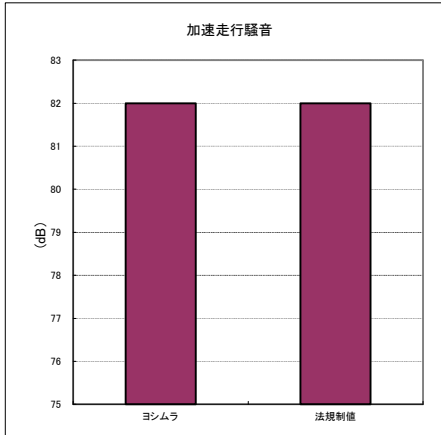
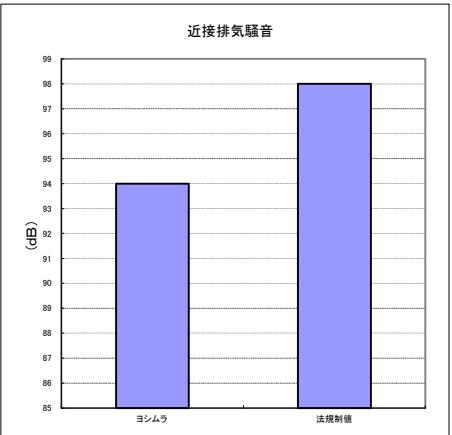
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	16.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	98
加速走行騒音(dB)	82	82



⚠重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのお問い合わせ窓口までご連絡下さい。

⚠危険

- ※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠注意

- ※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
- ※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
- ※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

●High Flow Magicについて

※本製品は、マフラー内部にハニカム触媒を搭載したキャタライズドサイクロン“High Flow Magic”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

●ヨシムラサイクロンのメンテナンス

- ※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
- ※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。
- ※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
- ※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

●2年保証について

- ※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
- ※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
- ※使用過程で発生した商品の变色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
- ※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内： <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

●「政府認証マフラー」について

- ※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
- ※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶

マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

